



しいば 議会だより

第96号

令和元年10月

発行
編集

宮崎県椎葉村議会

議会だより編集委員会

〒889-1601

宮崎県東臼杵郡椎葉村大字

下福良1762番地1

TEL(0982)67-6209

村内無料電話7-67-0091

ありがとうございます！小崎小学校
～楽しい思い出がたくさんできました～
令和元年9月23日
小崎小運動会



9月定例会(2～3)

総括質疑(4)

一般質問(4～6)

議員活動報告(6～7)

議会の動き(8)

令和元年 9月定例会

令和元年9月定例会が9月6日から17日まで開催され、報告案件2件、承認案件2件、令和元年度補正予算や条例の改正、辺地計画の変更などの議案17件、平成30年度歳入歳出決算認定8件を審議、いずれも提案どおり可決した。また、3名の議員（那須重美、河口吉弘、尾前秀久）が一般質問を、また、平成30年度決算にあたっては、2名の議員（那須重美、河口吉弘）が総括質疑を行った。

9月定例会で決まったこと

議案番号	議案名	審査結果
報告第 4号	平成30年度椎葉村財政健全化判断比率の報告	報告
報告第 5号	平成30年度椎葉村公営企業会計における資金不足比率の報告	報告
承認第 11号	専決処分について（椎葉村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正）	承認
承認第 12号	令和元年度椎葉村一般会計補正予算（第3号）	承認
認定第 1号	平成30年度椎葉村一般会計歳入歳出決算認定	認定（全員一致）
認定第 2号	平成30年度椎葉村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定（全員一致）
認定第 3号	平成30年度椎葉村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定（全員一致）
認定第 4号	平成30年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計歳入歳出決算認定	認定（全員一致）
認定第 5号	平成30年度椎葉村電気事業特別会計歳入歳出決算認定	認定（全員一致）
認定第 6号	平成30年度椎葉村介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定（全員一致）
認定第 7号	平成30年度椎葉村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定（全員一致）
認定第 8号	平成30年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計歳入歳出決算認定	認定（全員一致）
議案第 63号	令和元年度椎葉村一般会計補正予算（第4号）	可決（全員一致）
議案第 64号	令和元年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第 65号	令和元年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第 66号	令和元年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第 67号	令和元年度椎葉村電気事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第 68号	令和元年度椎葉村介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第 69号	令和元年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第 70号	令和元年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第 71号	鹿野遊辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決（全員一致）
議案第 72号	仲塔辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決（全員一致）
慰安第 73号	尾向辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決（全員一致）
議案第 74号	不土野辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決（全員一致）
議案第 75号	小崎辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決（全員一致）
議案第 76号	松尾辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	可決（全員一致）
議案第 77号	椎葉村特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）
議案第 78号	椎葉村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）
議案第 79号	椎葉村印鑑条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）

令和元年度補正予算

令和元年度一般会計補正予算(承認第12号)

会計名称	補正前の額(千円)	補正額(千円)	補正後の額(千円)
一般会計	5,215,025	16,730	5,231,755

(主な内容)

- 不土野小学校照明工事 203万円
- アジア友好の翼事業に対する補助金 80万円の追加
- 村道中尾～小ヶ倉線災害復旧工事測量設計委託料 1,310万円

令和元年度補正予算(議案第63号～70号)

会計名称	補正前の額(千円)	補正額(千円)	補正後の額(千円)
一般会計	5,231,755	405,962	5,637,717
国民健康保険特別会計	365,654	11,497	377,151
国民健康保険病院事業特別会計	514,990	△ 1,559	513,431
介護保険特別会計	408,949	3,400	412,349
後期高齢者医療特別会計	88,165	925	89,090

(一般会計補正予算の主な内容)

- 大久保ヒノキ周辺の用地買収費 167万円
- 平寿園跡地施設整備に伴う図書選書委託料 386万1千円
- 平寿園跡地に整備される拠点施設進入道路の拡幅工事費 1,300万円
- 移住・定住促進住環境整備補助金 600万円追加
- 地域おこし協力隊活動事業補助金 46万4千円追加
- 身体障がい者住宅改造補助金 100万円
- 他町村の保育所に入所する子どもたちの広域入所委託料 208万9千円追加
- 不土野「浅敷団地」農業施設造成工事費 240万円追加
- 間伐促進事業補助金 334万8千円追加
- 高性能林業機械整備事業補助金 723万3千円
- 間柏原地区落石防止工事費 1,206万5千円
- 商工業事業者が行う店舗・施設整備事業補助金 608万円
- ひえつきの里キャンプ場、矢立キャンプ場改修のための測量設計委託料 298万1千円
施設改修工事請負費 836万3千円
- 村単独の急傾斜事業補助金 437万3千円追加
- 村産材を活用した木造住宅建築事業補助金 31万2千円
- 令和元年度末に閉校する小崎小学校のスクールバス購入費 436万9千円
- 小崎小学校閉校式等に関する補助金 200万円
- 椎葉村伝統文化活性化事業実行委員会運営補助金 85万円
- 林道施設災害復旧費 4,192万8千円
- 農業用施設災害復旧費 260万円
- 道路橋梁災害復旧費 2億7,170万9千円



平寿園跡地進入路

○条例の一部改正

「椎葉村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」は、令和元年10月1日から保育所を利用する3歳から5歳までの子供たちの利用料を無償化するための条例改正です。0歳から2歳までの子供たちについては、村民税非課税世帯を対象に無償化するものです。また、子供が二人以上いる世帯についても、負担軽減の観点から、利用料が半額になったり無償化になる場合もありますので詳しくは「福祉保健課」にお問い合わせください。



上椎葉中央保育所

○国土強靱化対策の推進を求める意見書を採択

9月定例会最終日に議員発議による「国土強靱化対策の推進を求める意見書」を全員一致で採択、椎葉村議会として衆・参各議長、内閣総理大臣及び関係大臣に対して意見書を提出することとした。

意見書の内容は、近年、全国各地で豪雨や地震などの自然災害が頻繁かつ激甚的に発生しており、多発する自然災害に備えるべく、国民の生命や財産を守るために防災・減災、さらには国土強靱化を進めることが重要。

そのため、①、「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」を推進するため、国・県・市町村が行う対策に必要な予算の確保を図ること。②、3か年緊急対策後も継続して国土強靱化対策を推進し、災害復旧・災害関連予算の確保や補助対象の拡大を図ることなど、4項目の要望を求める意見書です。

総括質疑



那須重美 議員

問1 本村では資源豊富であるため、自家発電の供給が大変効果的であるのではと考えます。平成28年から電力自由化が始まっており、こうした再生可能エネルギーの利用について今後、本村の自立的効果を視野にいった時、再生可能エネルギーの利用について村長の見解を求めます。

答1 行政としては今、積極的に取り組んでいない現状。いろんな面で行政で動ける範囲では、しっかり協力をしていく。

問2 本村においても小発電施設、蓄電施設をいち早く取り入れ、災害時はもとより、村民主導の自給政策が必要ではないかと考える。今後の本村の現状として、人口減少、少子高齢化等を考慮した時、再生可能エネルギー

ギーなどを含め、あらゆる分野での政策開発、政策予測対応等、専門的に行うシンクタンクの設置も必要と考えるが村長の見解を求めます。

答2 再生可能エネルギー、太陽光エネルギーの問題については、空き地、山奥に作るというのは行政の中では考えていない。災害時においては、各消防団に備えたりして対応している現状である。



河口吉弘 議員

問1 平成25年の空き家調査によると、今すぐ住める空き家8件、少し手を加えれば住める10件となっている。空き家対策は景観保全と移住定住の促進の面で重要な政策課題。すぐにでも住める空き家をモデル的に活用するなど、空き家対策にどのように取り組むつもりか。

答1 空き家の増加は重要な問題と考えている。移住・定住促進のためにも重要な問題であり、ちゃんとした計画を立てて遂行していきたい。行政としてなにができるかという突き詰めた計画が必要。年内に報告ができるように計画を立てたい。

問2 村有林、分収林合わせて2,247haの公有林がある、計画的に収穫、造林するなど、自主財源の確保と林業従事者の仕事の創出に役立てるべきではないか。

答2 財源確保もそこで働く人たちの生活のためにも提案していただいた方向で研究し、年度内にきちんと整理してお示ししたい。

問3 高齢化や後継者不足により、大八漬や味噌漬、鶴富味噌など加工品づくりの技術がなくなろうとしている。郷土料理や特産品づくりのために村おこしグループの育成強化に取り組むべきではないか。

答3 高齢化が進んでおり、若い人がグループに入っていないという悩みを聞いている。グループとも話をし、行政としてどうすべきか、原点に戻って協議させていただきたい。



村長に聞く!

～ 一般質問 ～



那須重美 議員

質問 村道・林道の維持、管理の対応について

問1 長期総合計画、公共施設等総合管理計画、年度当初の施政方針等に明記してあるように、多面的機能の役割として積極的に整備を進める旨の基本計画が明記してある。村民からの要望に対する維持管理の対応について行政として

の考え方を求めます。

答1 年度当初に実施している維持管理要望箇所調査や住民からの情報提供をお願いしたいと考えている。

問2 職員間による情報提供、情報の把握も必要である。要望、相談がある前に、関係部署において維持管理の方法、又は対応の検討が必要と考えるが見解を求めます。

答2 維持管理について不便等ある場合につきましては、やはり村民からお知らせをいただきながら対応してまいりたいと思います。

問3 作業員によって手の行き届かない箇所については作業委託によって対応したらとも考える。時期的に一斉に維持管理が可能ではないかと考えるが、見解を求める。

答3 手の届かない部分については予算の範囲内で職員だけでなく、業界に対してもお願いをしながら努める。



河口吉弘 議員

質問 **プレミアム商品券発行事業、年金生活者支援給付金制度の取り組みについて**

問1 10月からの消費税引き上げに伴い、村民税が課税されていない世帯と3歳半以下の子供のいる世帯に対して、25,000円の商品券を20,000円で販売する「プレミアム商品券発行事業」が始まる。

また、年金収入と他の収入を合わせて年額89万7,300円以下の低年金生活者に月額5,000円の「年金生活者支援給付金」を支給する制度が12月の年金支給月から始まる。この事業が村民生活に及ぼす影響は大きく、村民の関心も高くなっている。事業を担当する地域振興課、税務住民課合同で説明会や相談会を計画するなど、制度の周知に取り組む必要があるのではないか。

答1 「プレミアム商品券事業」については、新聞、テレビ、ポスター、チラシなどを活用した広報を行っている。また、村では対象者に対して制度内容や申請書を直接郵送しており、個別相談も随時受け付けていく。

「年金生活者支援給付金制度」については、年金を受給している65歳以上の非課税世帯の人で、年間所得が87万9,300円以下の人、障害基礎年金や遺

族基礎年金受給者は462万1,000円以下の人が対象。

村は、すでに6月には事務処理を行う日本年金機構に所得情報を提供しており、これから年金機構から対象となる方に直接通知が届くことになる。また、対象者の請求手続きも簡単なものであり、説明会などの開催は考えていない。

問2 プレミアム商品券が利用できる事業者(特定事業者)はどうなっているのか。その事業者の周知も必要と思うが。

答2 事業所から申請があれば、村内すべての事業所で利用できる。

問3 庁内に相談日を設定し、対象者やそうでない方にも懇切丁寧に相談に応じるなどの取り組みが必要と思うが。

答3 村民税が非課税世帯は861名、3歳半以下の子どもたちは57名。各課に相談窓口は設けてあるので疑義がある場合は相談いただきたい。



尾前秀久 議員

質問 **後継者育成に向けた耕地、用地の整備施設の充実について**

問1 人口減少問題を今後未来に向けて考える時、何が必要か、何をなすべきか、課題を見出しながらその課題を、一つ一つ解決していくため以下の政策を、強く推し進めていくことが必要と考える。

まず、集約的農業、ハウスでの花卉園芸、シイタケ栽培施設、畜産等その耕地整備、用地整備の充実について、

1. 村内各地域の耕作放棄地等を調査し、集約化に向けた用地、施設の整備を。

2. 耕作放棄地、空き家等、村で買い上げ整備を。
3. そうした整備を先行し後継者、Iターン、Uターン、移住者等の人達が選択できる環境を。

答1 平成26年度より宮崎県農業振興公社がこの事業を行う『農地中間管理機構』として認可を受け、農地の出し手と受け手が円滑に農地の貸し借りができる仕組みを構築している。しかし、農地の集積率は、県内全体の平均8.9%に対し、本村は急峻な山林が多く0.6%と進んでいないのが現状である。

本村でも農地利用集積を進め、農業担い手の育成、及び農業所得向上の重要性から国の事業を活用し整備を行ってきた。本年度は、浅敷地区で0.9haの農地整備を計画している。まずは、利用を希望する生産

者の需要がある前提が必要である。また、費用対効果の観点から現状では困難である。しかし、担い手の育成、農林業所得の向上は重要な課題であることから、新たな候補地について検討を継続していく。

問2 確かに多額の資金を導入する訳ですから、生産者の有無が必至という思いは分かる。しかし、これから未来に向かってここ椎葉で生きていきたい、椎葉に住んで働いてみたいと思っている人たちに、選択のできる環境をいかに多く整えていくのか、居住問題についても村内かなりの空家がある。村で買い上げ整備し、いつでも居住できる環境等、思い切った先行投資の必要を考えるが。

答2 一番肝心なのは需要があるかどうかである。調査をきっちり行い需要の有無をしっかりとらえ、検討を重ね無駄遣いのないよう頑張っていく。

問3 今、村内で1次産業に頑張っている方々の思いを聞き、今の状況は、そしてこれからは、未来に向かい人口減少を抑止できるとしたら、やはり1次産業でなければならないと考える。これらの活性化が最も重要であり、どう推し進めていくかが求められているのではないか。

大自然の中で誇りを持ち、幸せに暮らせる村づくりに全力で取り組んで頂くことを切望し質問を終わる。



議員活動報告

新人議員研修会 (7月1日)

宮崎市の自治会館において、新人議員(約60名)の研修会に参加した。議会の運営、地方自治法、公職選挙法、町村議会会議規則、町村議会委員会条例、議会の役割と構成についての説明が行われた。

この研修で、議員一人一人が自覚を持ち、村民のための議会活動に取り組み、少子高齢化社会の中で将来を見据えた議会運営が行われるよう考えさせられた研修会だった。

椎葉矢部砥用線整備促進期成同盟会総会(7月2日)

熊本県美里町役場砥用庁舎において、理事会及び総会が開催された。平成30年度事業経過並びに収支決算報告があり、熊本森林管理署及び宮崎北部森林管理署への要望活動の実施についての報告があった。

また、令和元年度事業計画及び収支予算について審議がなされ提案どおり可決された。

入郷地域開発期成同盟会要望活動 (7月8日-8月1日)

入郷3町村において提案、採択された14件の中で、東臼杵農林振興局長へ5件、日向土木事務所長へ4件、北部教育事務所長へ1件の要望書を7月8日に提出した。

また、8月1日に、県知事・県議会議長・総合政策部長・県土整備部長・福祉保健部長へ14件の要望書を提出し意見交換を行った。要望事項14件は以下のとおりである。

- ① 国道5路線並びに県道5路線の早期改良整備促進について
- ② 有害獣による農林業被害への対策について
- ③ 介護人材確保対策について
- ④ ひむか神話街道の改良について
- ⑤ 林業従事者の育成・確保について
- ⑥ 地上デジタル難視聴地域で運営するケーブルテレビ事業に対する支援について
- ⑦ 医師の確保について
- ⑧ 遠隔地域の中・高教育に係る教育費負担軽減策について
- ⑨ 森林・林業・木材振興対策について
- ⑩ 情報、通信施設整備の促進について
- ⑪ 急傾斜地崩壊対策事業の整備促進について
- ⑫ 治水事業の整備促進について
- ⑬ 大内原ダムの魚道設置について
- ⑭ 乾椎茸産業の振興対策について



知事への要望活動

国道327号尾平トンネル2工区新設 工事起工式 (8月5日)

建設が進む尾平トンネルの2工区の起工式、安全祈願祭が、県、村職員、工事関係者が出席するなか行われた。松尾側の1工区は掘削工事が終わり、来年3月に完成する予定。2工区は上椎葉側から掘削し、同年10月完成、年度中の供用開始を目指していると話があった。無事故で早期完成を祈るものである。



地域づくり懇談会 (6月17日~26日)

村内10公民館で行われた地域づくり懇談会に全議員が参加、各地区から出された要望、意見等を聞くことができた。それぞれの地域に課題が山積しており、議会としてもしっかりと向き合い、受け止めて、議会活動に反映していかなければならないと感じたところである。



栲尾地区

九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会 (8月2日)

総会、決起大会が宮崎県、熊本県の沿線議会議員及び、各関係団体参加の元、延岡市において開催された。延岡市~嘉島町 延長95kmの九州中央道の早期完成の実現に向けて大会決議、がんばろう三唱によって閉会した。

九州全体の産業・観光振興、国際競争力の向上、九州東西格差の解消、九州一体的浮揚の寄与など、期待する重要な路線として一刻も早い早期完成を願うものである。



「人口減少問題対策特別委員会」報告

8月27日、第2回特別委員会を開催、地域振興課から地方創生「椎葉村人口ビジョン・総合戦略(平成27年度~平成31年度)」の進捗状況について説明を受け、意見交換を行った。

計画最終年度の令和元年度末に掲げた目標値の達成状況(平成31年2月現在)は、新規農林業就業者数12人、観光入り込み客数142,000人、移住者数23人、地域おこし協力隊12名、集落支援員配置4名、地域内輸送体制整備地区4地区など、多くの事業や指標で目標値を上回る実績が報告されたものの、人口減少止めの重要な要素となる20~29歳の女性のUターン率や婚姻数については、厳しい状況にあることが報告された。

商工業や農林畜産業などすべての産業における後継者対策など、人口減少に歯止めをかけるための就労場所や所得確保の施策は喫緊の課題です。各産業における後継者の現状や雇用の確保等に対する課題や意見を早急にとりまとめ、支援策等の検討・立案に取りかからなければならないことを確認しあった。



議会の動き

7月	24日	議会運営委員長・副委員長研修	宮崎市
	25~26日	郡町村議会定例議長会	福岡県うきは市・太刀洗町
		例月出納検査	監査室
	29日	R327号外日向圏域4路線整備促進期成同盟会総会	日向市
		「みすず会」総会	宮崎市
30日	日向・東白杵町村議会議長連絡会要望活動	宮崎市	
8月	1日	入郷地域開発期成同盟会要望活動	宮崎市
		正副議長研修会	宮崎市
		地方行政問題協議会	宮崎市
	2日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会国道	延岡市
	5日	国道327号尾平トンネル2工区起工式	那須橋坑口
		第1回議会改革特別委員会	委員会室
		第1回地域医療を守る調査検討特別委員会	委員会室
		第1回人口減少問題対策特別委員会	委員会室
		第7回全員協議会	委員会室
	9日	東九州自動車道建設促進地方大会	鹿児島県志布志市
	10日	国道327号諸塚1号トンネル開通式	諸塚村
	20日	九州中央自動車道建設促進地方大会	嘉島町
	22日	国道265号改良整備促進期成同盟会定期総会及び要望活動	宮崎市
	22-23日	例月監査	監査室
	23日	スマートウェルネスシティシンポジウム	宮崎市
	26日	日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会国・県出先機関要望活動	延岡市・日向市
	27日	第2回議会改革特別委員会	委員会室
		第2回人口減少問題対策特別委員会	委員会室
第5回議会運営委員会		委員会室	
	県町村監査委員協議会臨時総会、研修会	高千穂町	
28日	国道388号(門川町～椎葉村間)整備促進に関する要望活動	日向市・宮崎市	
29日	人吉・日向間一般国道(388/446号)整備促進期成同盟会総会及び要望活動	熊本市	
30日	宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議総会	宮崎市	
31日	国道388号日平バイパス開通式	美郷町	

9月	2日	交通安全合同会議	3階会議室
		平成30年度決算監査講評	3階会議室
	6日	第8回全員協議会	委員会室
	6~17日	9月定例議会	議場
	14日	高齢者福祉まつり	村民体育館
	15日	椎葉中学校体育大会	椎葉中学校
	17日	議会だより編集委員会	委員会室
	22日	小学校・地区運動会	各小学校
	24日	交通安全街頭キャンペーン	平家本陣
	25-26日	例月監査	監査室
10月	26日	国道388号(門川～椎葉間)整備促進に関する要望	福岡市
	27日	上球磨・西米良村・椎葉村正副議長会	椎葉村
	30日	東白杵郡町村議会議員研修会	日向市
	10日	県議長会臨時総会・議員大会	国富町
	13日	村民体育大会	村グラウンド
	17日	日向圏域国道5路線整備促進に関する要望活動	宮崎市
	19日	村女性のつどい	開発センター
	20日	都城駐屯地開設68周年・第43普通科連隊創隊57周年記	都城市

編集後記

今年も温暖化の影響か、台風が次から次へと発生しています。これまで本村には大きな被害もなく通り過ぎていますが、他の県では、甚大な災害が起きています。平成16年、17年と我が村も大きな災害に遭遇しました。決して他人事ではありません。被災をされた方々に心からの哀悼の意と一日も早い復興を皆様と共に祈り申し上げます。

本村においても、長雨が続き日照不足で農作物への影響が懸念される今日、早く秋晴れの来るのを望むばかりです。

さて、9月6日から12日間にわたって村議会9月定例会が開催され、平成30年度の歳入歳出決算を審査し承認したところでございます。議会においても、村行政においても新たな取り組みを始めておりますが、活性化に向かうとき村民の皆様の声が不可欠です。ご意見ご批判をお待ちしております。

文責 尾前秀久



椎葉村議会テレビ生中継

12月定例会は12月10日開会予定となっています。
お問い合わせは議会事務局まで
(TEL 0982-67-3209)
是非傍聴にお越しください。
議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。